



応援ありがとうございます！

私、馬場ゆうきは皆さまから大きな力をいただき、一步前へ進むことができました。多くの方々から「現場を知る人が政治には必要である」という言葉を活動の中で聴いて参りました。農業、モノづくり、子育て、教育、介護、医療、それぞれの現場で「今」、そして「将来」に向けた課題があります。現場を支える人々を支える仕組みを、国政から作っていきます。

皆さまからお寄せいただいた想いは、私の背中を力強く押し、進む力となっています。その想いに応えるべく、暗く停滞する今を変える力を、明るく希望に満ちた未来をつくる力を、皆さまと共に歩む中で育むことを、今一度馬場ゆうきからのお約束といたします。

引き続き、ご支援どうぞよろしくお願いたします。



馬場ゆうき、初めての国会へ

11月10日から特別国会が召集されました。初めての国会への出席、いわゆる「初登院」を終え、気持ちを新たにしました。

まだ何もない議員会館。 ここからがスタート。

今回最年少かつ唯一の20代議員、そして初の平成生まれの国会議員となりました。色々な立場をいただくことになり、身の引き締まる思いです。自分に与えられた役割をしっかりと全うしていきます。



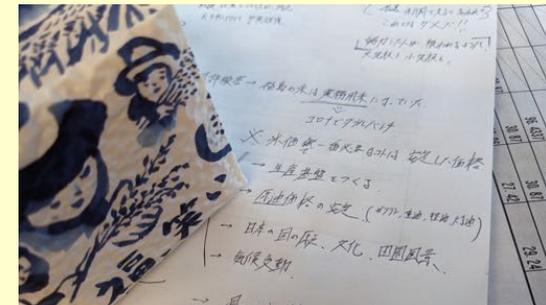
初の両院議員総会

衆院選の際に大変お世話になった先輩方と再会でき、この場で仕事ができることを本当にうれしく思います。基礎を身につけ、一早く国政の場で政策提言していけるよう地道に活動していきます。



現場の声に答えはある

国会に行って感じたことは紙と文字で物事が進むこと。現場の情報収集を徹底し、政治の場に届ける代弁者でなくてはならないという気持ちを改めて強く抱きました。



初登院の様子はこちら

ありがたくも、初登院の様子をメディアに取り上げていただきました。馬場ゆうきのホームページから見る事ができます。ぜひご覧ください→<https://yuki-baba.jp>





福島の今

「帰還困難区域」

初登院前の限られた時間、「どうしても行きたい」と馬場が懇願したのは帰還困難区域の視察。立場が変わった今、何を思うのか…



MUGENDAI
∞
BABA YUKI

vol.1
WINTER 2021

「やっぱり自分の政治の原点はここにあるですよ。忘れてはいけない」そう悲しい笑顔で語る馬場。これまで幾度となく帰還困難区域視察を重ね、現地の人の声をきいてきた。その声を今度は政治の世界に届ける覚悟だ。



帰還困難区域の情報を知る機会が少ない。これまで国内外で研究していた馬場は、海外から見た福島印象が10年前のまま止まっていることに危機感を覚える。「福島の今を伝える取組を大切にしていきたい」と話す。

他県から集まった大学生たちは、「震災時は小学生で当時のことを理解できていなかった…」震災を知らない世代が増える中、いかに後世に教訓を引き継ぐかが課題。スピード感と長期的展望が求められている。



～ 編集後記 ～

なぜ馬場は最年少議員になれたのか？それは間違いなく、馬場の「勤勉さ」に尽きる。「やめろ」「無謀だ」…誰も信じなかった選挙で比例復活にしがみついたのは、奇跡と呼べるかもしれない。しかし、震災の時から政治に疑問を抱き、大学や松下政経塾で研鑽を積み入念に準備してきた姿は、近年見る「若いだけの政治家」とは一線を画する存在に思える。同行していると、彼の好奇心旺盛にどんどん質問していく前のめりさと、ちょっとした抜け漏れを許さないストイックさを垣間見た。荒削りだが真っ直ぐな青年。今、まさにスタートラインに立つ未来の獅子の成長が楽しみで仕方がない。(編集T)

MUGENDAI ∞ BABA YUKI

〒953-8052 郡山市八山田
5丁目214サルーテII 103
TEL: 024-953-8109
FAX: 024-953-8110
発行: 馬場ゆうきとともに
歩む会 (後援会)

後援会入会者募集中!!

申し込みは馬場ゆうきHP
より問い合わせください。



初登院。

29歳が目指す政治とは？

固定概念に捉われない住民主体の政治づくりを。

馬場ゆうきとともに歩む会